

## 漁業権の資源管理の状況等の報告について

令和2年に改正漁業法が施行され、漁業権者は免許された漁業権の活用状況について1年に1回以上、県知事あて報告する義務が課されました。また、知事は当該報告を受けた事項について、内水面漁場管理委員会へ必要な報告をすることとされています。

また、漁業権に関して内水面漁場計画の作成や漁業の免許にあたっては、現に免許された漁業権の漁場が活用漁業権である場合には、漁場計画に現行の漁業権漁場と概ね等しい漁場を設定するほか、現に免許を受けている者に免許しなければならないとされています。（第354回委員会にて御説明した内容からの変更はありません。）

## 漁業法抜粋

（資源管理の状況等の報告）

第九十条 漁業権者は、農林水産省令で定めるところにより、その有する漁業権の内容たる漁業における資源管理の状況、漁場の活用の状況その他の農林水産省令で定める事項を都道府県知事に報告しなければならない。ただし、第二十六条第一項又は第三十条第一項の規定により都道府県知事に報告した事項については、この限りでない。

2 都道府県知事は、農林水産省令で定めるところにより、海区漁業調整委員会に対し、前項の規定により報告を受けた事項について必要な報告をするものとする。

このため、令和4年次の資源管理の状況等の報告を求めるべく、別紙のとおり内水面の漁業権者あて通知を行いました。また、提出された資源管理の状況等の報告の内容は、令和5年度の目標増殖量設定のための基礎資料として活用します。

## 【今後のスケジュール】

①資源管理の状況等の報告書提出（令和5年1月31日まで）



（漁場計画の作成）

- ②報告書の内容および聞き取り等により漁業権の行使状況を確認
- ③確認結果を内水面漁場管理委員会へ報告のうえ漁場計画（案）を諮問（2月に予定）



（R5年度の目標増殖量）

- ④報告書の内容および聞き取り等により増殖事業のR4実績とR5計画をとりまとめ
- ⑤内水面漁場管理委員会でR5年度の目標増殖量を協議（3月に予定）



滋 水 第 2 4 号  
令和5年(2023年)1月17日

漁業権者各位

滋賀県農政水産部水産課長  
(公 印 省 略)

令和4年次 内水面第5種共同漁業権にかかる資源管理の状況等の  
報告について (通知)

平素は、当県水産行政の推進にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
標記の件について、漁業法ならびに同法施行規則において、漁業権者は、漁業権の活用状況について「知事が定める方法により1年に1回以上報告すること」とされております。

つきましては、該当する漁業権の行使状況等を様式に記入いただき、下記により水産課あて提出していただくようお願いします。

なお、本報告は裏面のとおり取り扱うこととしますが、漁業権の行使状況については、漁業権切替に伴い策定する漁場計画(案)において活用されている漁業権か否かを判断する基礎資料とするとともに、取りまとめたものを令和5年度の目標増殖量設定のための基礎資料として内水面漁場管理委員会に提供することとしますので御承知ください。

#### 記

##### 1. 添付書類

- ①漁業権の資源管理の状況等の報告書様式(様式4号、別紙1、別紙2)
- ②報告書記入例

##### 2. 提出方法

免許されている漁業権すべてについて、漁業権ごとに様式に記入し、水産課に郵送またはメールで提出  
(※様式の電子ファイルをご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。)

##### 3. 報告書の提出期限 令和5年1月31日 必着

（あて先）滋賀県知事

令和4年（2022年）12月31日現在

漁業協同組合

漁業法第90条第1項の規定に基づき、下記のとおり資源管理の状況等について報告します。

なお、下記報告の内容については、併せて国及び県が実施する水産資源の資源評価その他の漁業生産力の発展に資する取組に活用するため、国、県等の関係機関へ提供することに同意します。

漁業権番号	内 共 第	号
-------	-------	---

1 資源管理の状況等	
①漁業権行使規則の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業に係る法令等を順守している。</li> <li>・漁業の方法ごとに漁具の数および人数を定めて順守している。</li> <li>・行使料の額（ ）円/人</li> </ul>
②共同漁業権内の資源維持、増殖等のため実施している取組（該当するものに○印を記入してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密漁防止のため、遊漁者への啓発や巡回監視等を実施 <span style="float: right;">あり・なし</span></li> <li>・カワウ追い払い、防鳥糸の設置など生産性向上の取組 <span style="float: right;">あり・なし</span></li> <li>・水産多面事業などによる清掃等の環境保全活動 <span style="float: right;">あり・なし</span></li> </ul>
③その他の取組 （放流体験や子供教室など独自の活動があれば追記してください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元商店など地域住民との情報共有や協力した取り組みを実施</li> <li>・（体験会など）</li> </ul>

2 漁場の活用の状況 ※操業する漁法の別を○印してください。			
(1) 行使状況 ※採捕日数（漁場内で採捕に従事した日数×人数を記入ください）。すでに集計した表がある場合は、別紙として添付していただいても結構です。			
漁業種類	組合員による行使状況	遊漁者による採捕状況	
		日券販売人数	年券販売人数
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
	のべ日×人	人	人
(2) 増殖活動の状況 魚種別放流計画および増殖結果（別紙1）、放流実施結果（別紙2）のとおり			

※漁業権1件ごとに記入してください。2以上の免許がある場合は、それぞれ別の用紙に記入してください。

漁業権番号	内共第	号	漁業協同組合
-------	-----	---	--------

増殖計画 および実績	令和4年計画		令和4年実績		令和5年計画		備考(数量の理由等)
	種苗放流数	種苗放流数	種苗放流数	種苗放流数	種苗放流数	種苗放流以外の増殖の方法・規模	
アユ(仕立て)							
アユ(天然購入)							
コイ(稚魚)						(コイが漁業権魚種の場合は必須)	
フナ(稚魚)							
ウナギ(稚魚)							
ニジマス(稚魚)							
アマゴ(稚魚)							
アマゴ(卵)							
イワナ(稚魚)							
イワナ(卵)							
ワカサギ(卵)							
モロコ(稚魚)							
モロコ(卵)							

注：種苗1尾の体量は、アユ4g、コイ・ニジマス20g、フナ・ウナギ・アマゴ・イワナ15gを基準とします。

注：アユについて、仕立てアユの他に天然アユを購入する等により放流している場合は、分けて記入してください。

注：種苗放流以外の増殖の方法の例：親魚放流・産卵床の設置・産卵場の造成等

(別紙 2) 放流実施結果

漁業協同組合

漁業権番号

内共第

号

令和 4 年 (2022 年) 12 月 31 日 現在

魚種名	種苗購入年月日	購入量 (単位)	購入金額 (円)	購入先	放流年月日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日
	令和 4 年 月 日				令和 4 年 月 日

※漁業権 1 件ごとに記入してください。2 以上の免許がある場合は、それぞれ別の用紙に記入してください。

※種苗等購入量の欄には単位も記入してください。

( あゆ・こい・ふな・うなぎ の場合は「kg」、ます類の場合は「尾」、卵の場合は「粒」としててください)

※欄が足りない場合はコピーするなどして記入してください。